

Education for All

東京学芸大学 質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)

# 特別支援教育時代の 教員養成システムの開発

成果報告

小・中学校等には、LD等の特別な支援を必要とする児童生徒が6.3%(2002年の文部科学省調査)在籍しているとされています。

東京学芸大学では、平成20年度採択事業としてこれまで3年間、質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)「特別支援教育時代の教員養成システムの開発」の事業を進めてまいりました。このプログラムはすべての通常学級の担任の先生が特別支援教育についての基本的な知識、技能をもつことができるような教員養成システムの開発を目指しております。これまでの3年間の成果を報告いたします。

## 授業の充実



▲「障害児の発達と教育」の授業の様子  
東京学芸大学には、教員免許の取得を希望するすべての学生(1000名前後の1年生)の必修授業「障害児の発達と教育」(2単位)(前期の授業数4、後期の授業数4)があります。この授業について、次のように改善を行いました。



▶ 大学生がTA(ティーチングアシスタント)として授業に入っています

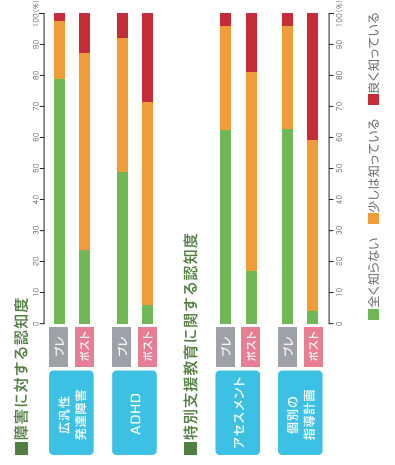


◀ 2人1組で「WISC-III知能検査(ウェクスラー式児童用知能検査第3版)」の演習

- 共通のテキスト、シラバスを作成しました。
- 各授業の冒頭では、映像教材などを用いて、さまざまな障害の種類について、子どもたちの様子をわかりやすく紹介しました。
- 学期の始めと終わりに、アンケートを実施することにより、学生の特別支援教育に関する実態と到達状況を把握しました。
- 実践的な授業として、検査器具を使って、アセスメントを体験したり、事例を映像で見ながら、個別の指導計画の一部を記入したりする演習を行いました。

## 特別支援教育に関するアンケートの結果

授業開始以前は、50%以上の学生が「全く知らない」と回答した障害名や特別支援教育に関する用語への理解が高まりました。



# 教育実習の充実

実習の場において特別支援教育の基本的な知識・技能等の仕上げを行うために、3～4年次に行われる教育実習の際に、全附属学校において、各学校の特別支援教育コーディネーターの教員による、発達障害の理解と支援を中心とした特別支援教育についての説明の場を設けました。その際に使用する「特別支援教育フロンティア講習」DVDを附属特別支援学校や特別支援科学講座等の教員と共同して作成しました。このような場を設けることによって、一人ひとりを大切にしている教育実習につながることが目指しました。なお、DVDの使用後にアンケートを実施し、その声を踏まえて、DVDの改訂を行いました。



## DVDを使ってみての声

- 特別支援教育コーディネーターの教員から
  - 使用して良かった
  - 事例を借やしてほしい
  - 簡単な解説資料がほしい
- 実習生から
  - 映像があることで理解しやすかった
  - 事例があることで保護者の立場、本人の立場の話がきけた



「特別支援教育フロンティア講習」DVD

# 成果の発信

## Q&Aでわかる冊子の作成

授業や教育実習のみならず、教育実践の場で子どもの支援の助けとなることを目指した「子どもへの支援」マニュアルを作成しました。20の質問項目に対して、「どうしてそうなのか」、「どうしたらよいのか」について、例を挙げて答える構成としました。

この冊子は小学生を対象として作成したものでしたが、幼児用や中・高生用も作成してほしいという声がありましたので、さらにこれらも作成することにしました。



## シンポジウムの開催

平成21年度に、本事業の一環として、シンポジウム「通常学級の教員に求められること」を開催しました。親の会、小学校校長、小学校特別支援教育コーディネーター、教育委員会の方々にシンポジストになっていただきました。子どもへの教育に関心をもつ多くの方に参加いただきました。

アンケートの自由意見には、このシンポジウムでの発表、意見を他の教員に聞いてもらいたい、管理職に聞いてもらいたい、他の大学教員に聞いてもらいたいなどがありました。

# 臨床活動の活用

希望する学生には、特別支援科学講座の教員がすでに組織している外部専門機関等と連携した発達障害児の臨床実践の場に参加してもらい、教育の実践力を継続的に積み重ねられるようにしました。



# 特別支援教育時代の教員養成システムの開発フォーラム開催

日時：平成23年2月27日(日)  
13時30分～15時30分  
会場：東京学芸大学20周年記念飯島同窓会館(第4会議室)

※詳細は、下記ホームページでご確認ください。

【本件に関する詳細・お問合せ先】  
東京学芸大学「特別支援教育時代の教員養成システムの開発」担当  
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
TEL：042-329-7601  
Web：<http://www.yoseigp-gakugei.jp/>



国立大学法人  
東京学芸大学